

その他

<p>件名</p>	<p>子どもファーストの白井市を目指して</p>
<p>内容</p>	<p>子どもを支援する施策を展開されていることは承知しておりますが、行政側の組織、施策は「おとな目線」に基づいたものではないでしょうか？子どもたちからの生の声を反映した市政（姿勢）に変わっていく必要性を感じております。</p> <p>子どもをもつお父さん、お母さんを支援することが重視されておりますが、一方で、子どもたちが日々生活している中で、こうしてもらいたいという願いを叶えることも必要です。</p> <p>市長及び子どもを支援する部門が子どもたちと直接会話ができる仕掛けをご検討願います。一例として、東京都豊島区が行なっている「区長に伝えたいこと」（うれしいこと、困っていること、もっとこうなるといいなあとと思ふこと）を書いて（この紙は子どもたちが集まるところに置いてある）、出せるようになっております（書いて折りたたみ封書として送れる）。</p> <p>そして、必ず、出した子どもに直接返事をしているようです。できることはすぐやる、すぐにできないことは理由を説明したり、こうしていきたいということを示しているようです。</p> <p>子どもたちの要望に応じていく姿勢（市政）をご検討願います。</p>
<p>回答</p>	<p>市では、未来を担う子どもたちの意見を取り入れ、市政やまちづくりに反映していくことが未来の白井市のために重要と考えており、子どもの参画推進の一環として、子どもたちから直接意見を聴く取組を実施しています。</p> <p>平成24年度から開始した「市長の社会科特別授業」では、私が市内の全小学校を訪問し、小学6年生の子どもたちと直接意見交換を行っています。</p> <p>また、令和3年度から開始した、子どもたちが社会の課題に向き合い、解決法を提案する「スクールサミット」では、市内の全小中学校の代表がプレゼンテーションに挑戦しており、子どもたちからいただいた提案は、市の事業を進めるうえで参考にしております。</p> <p>そして、来年度から市の重要な計画である「総合計画」「しろい子どもプラン」等の策定を進めるにあたり、次世代を担う子どもたちの意見を把握するため、子どもたちにアンケート調査を実施するとともに、小学生の部、中学生の部、高校生の部等、各世代の声を市長及び市職員が直接聴くワークショップを開催し、いただいた意見を計画に反映してまいります。</p> <p>最後に、御提案の「区長に伝えたいこと」につきましては、市には「市長への手紙」制度があり、実際に子どもたちからも手紙をいただいております、私から子どもたちに返信を行っております。</p> <p>今後も、子どもから大人まで、あらゆる方の意見を取り入れ、市政運営に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>（関係課：秘書課、子育て支援課、教育支援課）</p>